報道資料

静岡市

（令和６年９月 24 日発表）

静岡市将来人口の独自推計結果の公表

◆概要

１ 趣旨

・静岡市では、これまで、国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計（社人研推計）に基づき、政策を形成してきました。
・社人研推計は５年ごとの国勢調査結果をもとに算出されることから、直近の実態が推計に反映されません。
・また、社人研の推計は、行政区単位で５歳階級ごと推計されているため、小中学校や子ども園の再編の検討に必要な小学校区単位の１歳階級ごとの将来人口は把握できません。
・さらに、０歳人口の実績が社人研推計よりも大幅に下回ることが考えられます。
・このようなことから、より現実に即した人口推計に基づき、政策形成を行う必要があると考え、市の住民基本台帳情報をもとに独自の人口推計を行いましたので、その結果を公表します。

２ 推計結果のポイント

・総人口は、2050 年９月末で約 49 万人となり、2024 年６月末と比べ 27.2%減少します。また、社人研推計と比べて約５万人下回ります。
・0 歳人口は、2050 年９月末で約 2,600 人となり、2024 年６月末と比べ 25.2%減少します。また、社人研推計と比べて約 250 人下回ります。

（単位：人）

項目	最新値（2024.6）	推計名	推計値（2030.9）	推計値（2040.9）	推計値（2050.9）
総人口	675,506	静岡市独自推計	635,445	563,507	492,072
		社人研直近推計	649,978	598,680	546,205
0歳人口	3,458	静岡市独自推計	3,514	3,132	2,588
		社人研直近推計	3,626	3,380	2,842

◆内容説明について

詳細な推計結果は、別添のとおりです。本件について、ご質問等ある場合には、担当職員が、次のとおり、対応させていただきます。
日時：令和６年９月 24 日（火）13 時から
場所：静岡庁舎８階 市政記者室

別紙資料　有　・　無

【問合せ】企画課　統計分析係（静岡庁舎９階）
担当　安間、笹本
電話　０５４－２２１－１０２４

静岡市将来人口の独自推計の結果

2024.09.24

1　背景・目的

静岡市の人口は、政令指定都市 20 市中 11 位だった 1970 年の 681,797 人から増加し、1990 年に 739,300 人でピークを迎えました。その後は減少を続け、2020 年には初めて 70 万人を下回る 693,389 人で、政令指定都市中 20 位にまで落ち込みました。【表 1 参照】

このような急速な人口減少が続くと、小売や飲食などの生活関連サービスの縮小、税収入の減少による行政サービス水準の低下、地域公共交通の縮小、空き家・耕作放棄地の増加、地域コミュニティの機能低下など多岐にわたり影響を及ぼすことから、人口減少対策は本市の喫緊の課題であります。

この人口問題に対策を講じるには、現実に即した将来人口の推計が不可欠です。現在の人口を基準に公共施設を整備すると、その後人口が減少した場合には、整備した施設の維持・管理に無駄が生じるため、将来の人口動向を見据えた公共施設の適正な供給を図る必要があります。特に、小中学校や子ども園については、施設の建て替え・改修・統廃合を検討する際、年代別・小学校区ごとの詳細な推計が必要になります。また、将来人口を正確に把握した上で、さらにその推計を上回る結果を目指した政策の立案・執行を行っていきます。

【表１：政令指定都市の人口推移（国勢調査）】

11位　ピーク　20位：70万人以下

自治体	1970年	1980年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	1970年～2020年の増減	
	S45	S55	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	人口	率(%)
札幌市	1,010,123	1,401,757	1,671,742	1,757,025	1,822,368	1,880,863	1,913,545	1,952,356	1,973,395	963,272	95.4
仙台市	598,950	792,036	918,398	971,297	1,008,130	1,025,098	1,045,986	1,082,159	1,096,704	497,754	83.1
さいたま市	657,425	879,291	1,007,569	1,078,545	1,133,300	1,176,314	1,222,434	1,263,979	1,324,025	666,600	101.4
千葉市	482,133	746,430	829,455	856,878	887,164	924,319	961,749	971,882	974,951	492,818	102.2
横浜市	2,238,253	2,773,674	3,220,331	3,307,136	3,426,651	3,579,628	3,688,773	3,724,844	3,777,491	1,539,238	68.8
川崎市	973,486	1,040,802	1,173,603	1,202,820	1,249,905	1,327,011	1,425,512	1,475,213	1,538,262	564,776	58.0
相模原市	317,297	494,255	602,436	646,513	681,150	701,630	717,515	720,799	725,493	408,196	128.6
新潟市	631,923	730,733	776,775	796,456	808,969	813,847	811,901	810,157	789,275	157,352	24.9
静岡市	681,797	727,260	739,300	738,674	729,980	723,323	716,197	704,989	693,389	11,592	1.7
浜松市	631,284	698,982	751,509	766,832	786,306	804,032	800,866	797,980	790,718	159,434	25.3
名古屋市	2,036,053	2,087,902	2,154,793	2,152,184	2,171,557	2,215,062	2,263,894	2,295,638	2,332,176	296,123	14.5
京都市	1,427,376	1,480,377	1,468,190	1,470,902	1,474,471	1,474,811	1,474,015	1,475,183	1,463,723	36,347	2.5
大阪市	2,980,487	2,648,180	2,623,801	2,602,421	2,598,774	2,628,811	2,665,314	2,691,185	2,752,412	▲ 228,075	▲ 7.7
堺市	616,558	839,421	844,899	840,384	829,636	830,966	841,966	839,310	826,161	209,603	34.0
神戸市	1,288,937	1,367,390	1,477,410	1,423,792	1,493,398	1,525,393	1,544,200	1,537,272	1,525,152	236,215	18.3
岡山市	500,599	590,424	640,406	663,346	674,375	696,172	709,584	719,474	724,691	224,092	44.8
広島市	798,540	992,736	1,093,707	1,117,117	1,134,134	1,154,391	1,173,843	1,194,034	1,200,754	402,214	50.4
北九州市	1,042,318	1,065,078	1,026,455	1,019,598	1,011,471	993,525	976,846	961,286	939,029	▲ 103,289	▲ 9.9
福岡市	871,717	1,088,588	1,237,062	1,284,795	1,341,470	1,401,279	1,463,743	1,538,681	1,612,392	740,675	85.0
熊本市	534,228	619,236	680,765	708,097	720,816	727,978	734,474	740,822	738,865	204,637	38.3

… 人口のピーク

※人口は、令和２年 10 月時点の市域（合併前の年度は、関係自治体を合算している。）

次頁あり

２　市が独自推計を行う理由

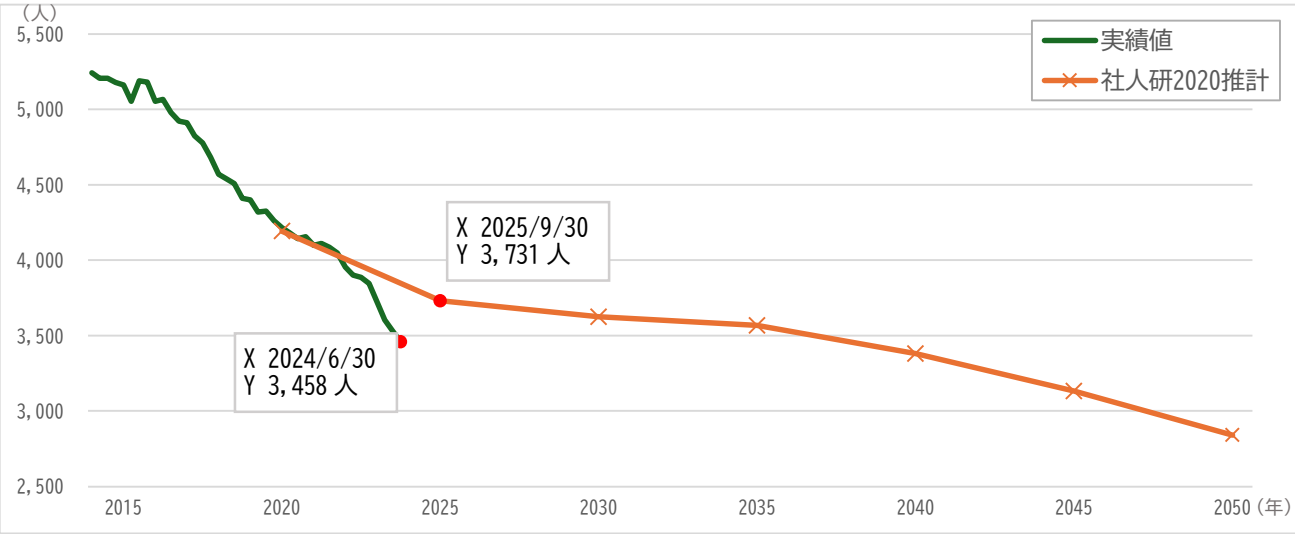
国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）でも、国勢調査の結果を用いて、全国・市区町村の将来人口の推計を行い、公表しています。しかしながら、国勢調査は５年おきに実施され、かつ調査結果の確定に２年の期間を要することから、直近の実態が推計に反映されません。

また、社人研の推計は、行政区単位で５歳階級ごと推計しているため、小中学校や子ども園の再編の検討に必要な小学校区単位の１歳階級ごとの将来人口は把握できません。

さらに、０歳人口でみると、本市の 2025 年９月末時点の推計値は 3,731 人ですが、2024 年６月末で既に 3,458 人であり、このままの傾向で減少が続けば、０歳人口の実績が社人研の推計を大幅に下回ることも考えられます。【図１参照】

そこで、静岡市では、社人研の推計ではなく、独自の推計をすることとしました。推計の基礎データには、「国勢調査」ではなく、頻繁に更新（３か月ごと）され、小学校区単位で１歳階級ごとの人口データを保有する「住民基本台帳」を使用しています。

【図１：静岡市の０歳人口の実績と推計】



※社人研の０歳推計人口は、０～４歳の推計人口を 2020 年の年齢構成で按分し、算出しています。

３　静岡市独自の推計結果

静岡市独自で将来人口を推計した結果、総人口は、2050 年９月末で約 49 万人となり、2024 年６月末と比べ、27.2%減少します。また、社人研の推計と比べて約５万人下回ります。

０歳人口は、2050 年９月末で約 2,600 人となり、2024 年６月末と比べ、25.2%減少します。また、社人研の推計と比べて約 250 人下回ります。【表２参照】

本推計結果は、あくまで特段の対策を講じない場合に予測される将来の人口動向を示したものであり、現状をこのまま放置するわけにはいきません。社会経済の将来動向や最新の科学技術に精通した有識者等から意見をいただきながら、人口減少の要因を分析し、対策を講じていきます。また、人口問題は、行政の力だけでは解決できない困難な課題であるため、「社会の大きな力」と「世界の大きな知」を借りて、持続可能な未来のために積極的に取り組んでいきます。

次頁あり

【表２：推計結果】　　（単位：人）

項目	最新値 （2024.6）	推計名	推計値 （2030.9）	推計値 （2040.9）	推計値 （2050.9）
総人口	675,506	静岡市独自推計	635,445	563,507	492,072
		社人研直近推計	649,978	598,680	546,205
0歳人口	3,458	静岡市独自推計	3,514	3,132	2,588
		社人研直近推計	3,626	3,380	2,842

４　推計値の更新

将来推計人口は、国勢調査
基準日の 10 月１日にあわせて更新し、毎年度 10 月中に公表をしていきます。

担当：企画課(054-221-1024)

参考

静岡市独自の推計方法

次の①～③の手順を踏んで、１年後の推計人口を算出し、それを将来にわたって繰り返します。【図２参照】

① 年齢別の推計人口の算出

１歳～99 歳の各歳の推計人口および 100 歳以上の推計人口は、基準年（X 年）の各年齢の人口に、「人口移動率※1 および生残率※2」の直近 10 年の平均値を掛け合わせます。

※1　人口移動率：転入者数から転出者数を差し引いた数の人口に対する割合

※2　生残率：１年後に生き残る割合

② ０歳人口（総数）の算出

０歳の推計人口は、20～44 歳女性推計人口に「子ども女性比※3」を掛け合わせます。

※3　子ども女性比：20～44 歳人口に対する０歳人口の割合を示し、2022 年９月時点データを基にしています。新型コロナウイルス感染症の影響で、2020 年から 2022 年頃まで男女の出会いの機会の減少といった特異な外的要因が生じ、そのことが 2024 年の子ども女性比に影響を与えたと仮定しました。2022 年の出生数は、その影響が小さかったと思われるため、2022 年９月末時点の比率を将来推計の根拠として使用しています。

③ ０歳人口（男女別）の算出

０歳の推計人口の総数が分かったら、それに「出生性比※4」の直近 10 年の平均値を掛け合わせます。

※4　男児と女児の出生割合（およそ 105 対 100）

【図２：計算手順】